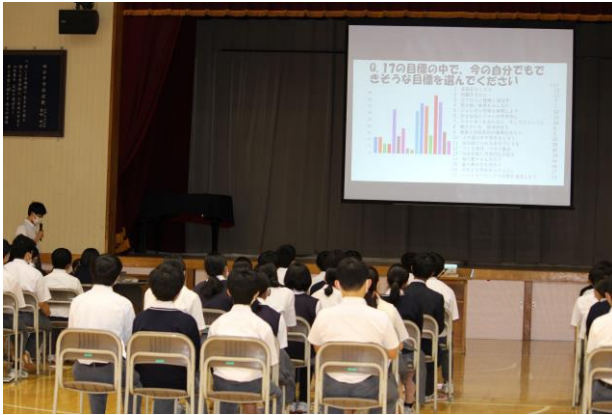


令和5年度

小・中学生フォーラム in 四谷中学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

7月6日（木）、四谷中学校（四谷1-12、校長：安田昭仁）の3年A組28名、B組27名、C組27名が、「SDGs－四谷中生が作れる持続可能な社会」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、生徒たちは、SDGsについての事前アンケートの結果などから、様々な視点から考えた持続可能な社会を形成するための行動についてグループでディスカッションを行い、各グループの代表が発表しました。この発表を踏まえて、各グループは、「すべての人が水とトイレを持続的に使える環境を作る」、「海の豊かさを守るために、プラスチックごみやポイ捨てをなくし海洋資源を守る」、「学校の校則を見直し、男女平等を実現できるようにする」、「ユニバーサルデザインの製品を増やし、バリアフリーを推進する」など、2030年に向けての行動宣言を行いました。

区長からは、「2030年には皆さんは22歳となり、社会の主役となっていく。これからいろんなことを吸収してSDGsを達成するために活躍して行ってほしい。」との話があり、生徒が知りたいこと、知っておくべきことなど学校と連携しながら区から情報発信をしていく旨が伝えられました。

生徒たちは、時折白熱した議論にもつながるほど、自分の意見をしっかりと持った発言をしており、SDGs達成のために自分ができることを考え、自ら行動することの大切さを実感していました。自分たちの身近なところからSDGs達成のための行動はできると気づくきっかけとなる、有意義なフォーラムとなりました。

